

秋吉台

日々 秋へと移り行く季節

いわゆる9月の長雨が一息ついたというところ。降り続いた雨、そして台風14号一過。久々の青空が広がって、空にはポコポコと秋の雲。気が付くと秋吉台の草原も秋の装いが始まりました。スキの花が咲き始め、赤褐色の花穂がひとときわ目を引きまします。夏草も終わりを告げ、秋の草花へとバトンタッチです。強い日差しはまだまだ続くかも知れませんが、時折そよりと頬を吹き抜ける風は、さわやかで心地よいものです。移り行く秋の季節を肌で感じてみませんか。



季節の花

ようやく見つけたフシグロの花

フシグロは、秋吉台の遊歩道沿いでよく見かけるのですが、いつ花が咲いているのか、あまり気に留めていませんでした。ある日の午後、白い小さな花が見えました。横向きに咲いて、終わるとだんだんと上に向きます。

ミヤマウズラ。森の中で久々に見つけました。目立つ場所でもなく目立つ花でもないのに、いつの間にかなくなってしまう。

ツルリンドウは、細いツルを伸ばしていますが、上へ上へと行くよりも地面に這うように伸びているようです。小さくて可憐な花ですが、晩秋に赤く実った果実の方がよく目につきます。



龍護峰

お船が遠くかすんでる

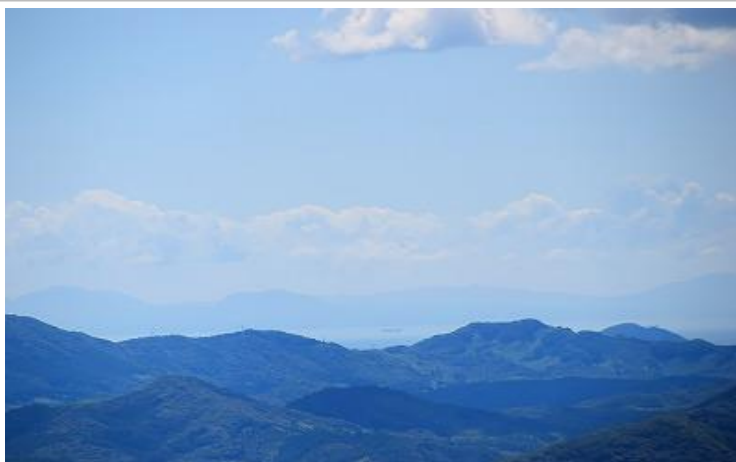
この時期に龍護峰へ登るのは苦手ですが、知人に誘われて行きました。

登る途中は無風でしたが、頂上付近にたどり着くと、幾分の心地よい風が吹いてきました。

遠くに九州の山並みが、かすかに見えます。その手前は瀬戸内海です。タンカーのような船影も見えます。

天気がよければ、もっとくっきりと見えるでしょう。

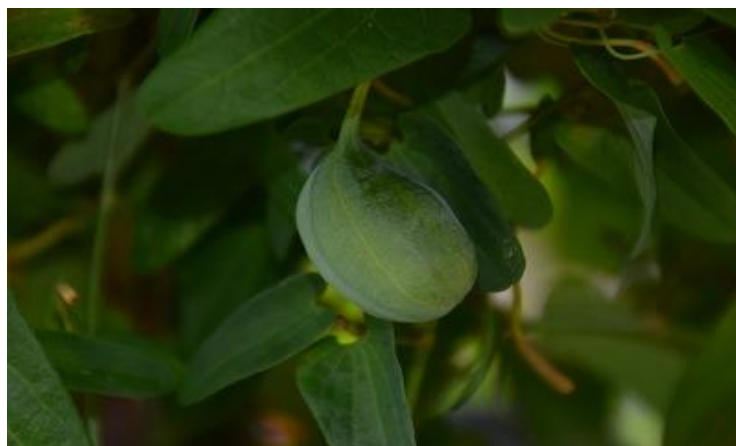
こんな面白い景色が見えるなら、秋が深まり空気が澄みわたる頃を見計らって、また登ってみたいものです。



ウマノスズクサ

1個だけと 待望の果実

ジャコウアゲハの幼虫に食べられなかったのでツルが5mほどに成長しました。実が成るのではないかと期待していたところ、8月の末に2個の果実が確認できました。その後、成長を観察しましたが、1個は大きくなり枯れて、今は残りの1個だけとなりました。今のところ順調に育っているようです。長く伸びたツルは数本あるのに、実が1個だけということは、それだけ結実することがむずかしいということでしょう。



センニンソウ

甘い香りは要注意です

9月ごろ、草木に覆いかぶさるように、また道路沿いの地に這うようにして、白くまとまって花を咲かせているのは、センニンソウと見てほぼ間違いないようです。ほのかに甘い香りがしますが、全草には有毒成分が含まれています。要注意です。

よく似た花にボタンヅルがありますが、すでにその花の時期はほとんど終わっています。

ある地方では民間療法として、センニンソウの葉を扁桃腺の治療に用いていたようです。



10月の行事

- | | | |
|------------|-----------|----------------------|
| 10月10日 (日) | 「蓄音機で音楽会」 | 蓄音機の説明のとSP盤の試聴を行います。 |
| 10月16日 (土) | 「秋吉台の化石」 | 化石の観察と採集をおこないます。 |